



いちかわみさと

第23号

2011年5月1日発行

議会だより



●なかよく集団登校（六郷地区）

平成23年 3月定例会

第1回臨時会

- 平成23年度一般会計予算83億9,804万円の使いみち 2～3
- 条例の制定・改正・・・・・・・・・・・・・・・・ 4
- 一般会計補正予算・・・・・・・・・・・・・・ 5
(管内小学校にエアコン設置)
- 常任委員会報告・・・・・・・・・・・・・・ 6～7
- 7議員が一般質問・・・・・・・・・・・・・・ 8～11
- 討論・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 12

平成23年度 当初予算

一般会計

83億9,804万円 (5億1,567万円増)

特別会計

54億5,972万円 (3億9,176万円増)

第1回 3月定例会

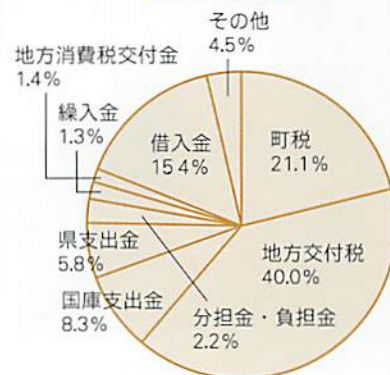
平成23年第1回定例会は、3月3日から17日までの15日間にわたり開催されました。今定例会では、平成23年度当初予算をはじめ、条例の制定・改正、平成22年度一般会計・特別会計補正予算など44議案が提出され、いずれも原案のとおり可決、同意されました。

経済対策と 子育て支援の充実

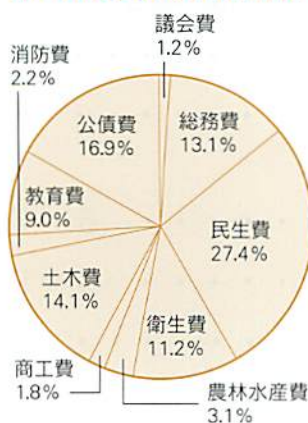
平成23年度、一般会計予算は5億1,567万円(6・54%)の増額です。主な要因は、建設事業費、扶助費、及び人件費などによるものです。今年度より住宅リフォーム助成事業を創設し、プレミアム商品券発行事業では、プレミアム率10%を20%に引き上げ、福祉の向上・地域経済の活性化・生活環境の向上を図り、町有住宅ネット、フェンス設置・三珠総合福祉センター耐震補強工事、景観計画策定・女性消防隊設置事業など予算化されました。雇用創出・子育て支援など引き続き実施していきます。

おもな収入	金額	対前年比
町税	17億7,160万円	△6,132万円
地方交付税	33億6,013万円	1億9,409万円
国庫支出金	6億9,744万円	9,332万円
県支出金	4億8,254万円	3,280万円
分担金・負担金	1億8,603万円	△383万円
繰入金	1億1,100万円	900万円
地方消費税交付金	1億1,848万円	583万円
借入金(借金)	12億9,300万円	1億8,510万円

おもな収入



おもな支出(目的別)



目的別支出	金額	対前年比
議会費	9,960万円	3,521万円
総務費	11億1,322万円	△5,036万円
民生費	23億4,866万円	2億3,086万円
衛生費	9億4,127万円	1,562万円
農林水産費	2億5,689万円	△4,557万円
商工費	1億4,841万円	1,979万円
土木費	11億8,362万円	2億7,031万円
消防費	1億8,130万円	4,464万円
教育費	7億5,824万円	△1,672万円
公債費	14億1,829万円	1,190万円

性質別支出	金額	対前年比
人件費	13億1,044万円	3,375万円
物件費	12億8,848万円	△1,475万円
扶助費	10億3,334万円	1億1,714万円
補助費等	13億2,007万円	1,101万円
借入金返済	14億1,829万円	1,190万円
繰出金	11億7,898万円	1億3,084万円
普通建設事業費	7億7,950万円	2億1,307万円

一般会計のおもな使いみち (万円未満は四捨五入)

◇子育てに使うお金

子育て支援医療助成金	4,996万円
保育所費	3億4,697万円
延長保育、一時保育促進事業補助金	1,683万円
放課後児童健全育成事業費	2,688万円
子ども手当支給事業費	3億1,120万円

◇福祉に使うお金

後期高齢者医療給付費等負担金	1億9,797万円
後期高齢者医療特別会計繰出金	6,356万円
介護保険特別会計繰出金	2億9,797万円
国民健康保険特別会計繰出金	1億3,745万円
つむぎの湯管理費	5,972万円
ニードスポーツセンター費	3,242万円
予防接種事業等委託料	4,591万円

◇衛生に使うお金

町立病院事業会計負担金	2億円
粗大ゴミ収集運搬処分委託料	4,985万円
簡易水道特別会計繰出金	9,965万円
中巨摩広域事務組合負担金	1億7,487万円
三郡衛生組合負担金	5,496万円
峡南衛生組合負担金	6,546万円

◇産業・まちおこしに使うお金

農業土木費	1億50万円
地籍調査費	3,211万円
農業振興費	2,433万円
商工振興費	1,987万円
温泉事業特別会計繰出金	4,150万円
歌舞伎文化公園管理特別会計繰出金	3,254万円

◇土木・建設に使うお金

公共下水道事業特別会計繰出金	5億1,906万円
道路新設改良費	3億8,215万円
中央通り整備工事費	8,151万円
道路橋梁維持管理費	4,635万円
住宅管理費	1,532万円
三珠総合福祉センター耐震補強工事費	6,090万円

◇学校教育に使うお金

小学校費(6校 管理費・振興費)	1億6,774万円
中学校費(4校 管理費・振興費)	1億1,050万円
国際教育費	2,387万円
給食センター費	1億7,716万円

◇社会教育に使うお金

公民館管理費	2,281万円
図書館費	2,152万円
芸術文化振興費	1,172万円
体育施設管理費	2,752万円

◇消防・防災に使うお金

消防車購入費	3,100万円
耐震性貯水槽工事費	3,300万円
防災備蓄倉庫設置工事費	1,700万円
消防詰所新築工事費	1,397万円

◇その他に使うお金

安全安心対策費	2,020万円
ふるさと創生事業費	650万円
景観計画策定業務委託料	600万円

< 公営企業会計 >

●上水道事業会計

事業収入	1億5,552万円
事業支出	1億6,498万円

●病院事業会計

(病院分) 事業収入	17億2,153万円
事業支出	17億3,898万円
(介護老人保険施設分)	
事業収入	3億6,056万円
事業支出	3億7,578万円

< 特別会計 >

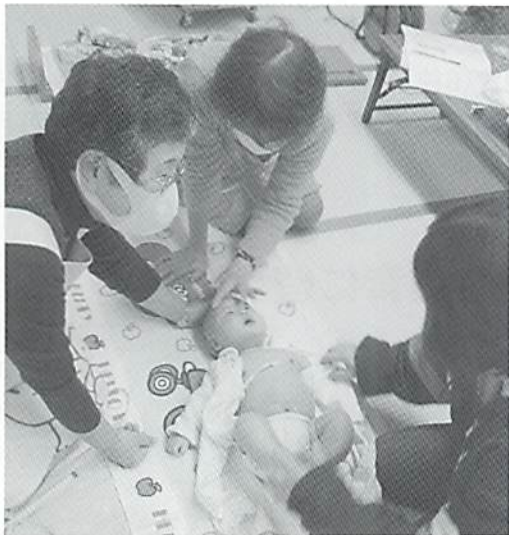
国民健康保険特別会計	20億1,765万円
介護保険特別会計	17億3,529万円
簡易水道特別会計	2億8,038万円
公共下水道事業特別会計	9億7,117万円
農業集落排水事業特別会計	3,441万円
温泉事業特別会計	5,953万円
歌舞伎公園特別会計	3,515万円
後期高齢者医療特別会計	1億9,182万円
その他7特別会計	1億3,432万円

特別会計合計	54億5,972万円
--------	------------

条例の制定・改正

国民健康保健条例の改正

出産育児一時金が 恒久化に!!



安心して子どもを、産み育てられる環境整備のため、暫定的に引き上げた出産育児一時金の額39万円を恒久化するための改正です。

住民生活に光をそそぐ基金条例の制定

小さな声にも光が

「住民生活に光をそそぐ交付金」を財源として、住民生活にとって大事な分野（地方消費者行政、DV・自殺予防等の弱者対策、自立支援、知の地域づくり等）に光を当てた事業を実施するため基金の設置をするものです。

育児休業等に関する条例の改正

仕事と育児の両立が…

非常勤職員も育児休業と育児部分休業が取得できるようになりました。

特別会計条例の改正

老人保健特別会計の廃止により、清算業務を一般会計に移し行うための改正です。

簡易水道事業の

設置等に関する

条例の改正

新たな水源で

安全・安定した

水の確保を！

山保簡易水道改良事業を実施するにあたり、給水人口の減少や1日の給水量を勘案し、事業計画を新たに策定するための改正です。

総括質疑

問 一瀬 正

緊急経済対策として、今年度より住宅リフォーム助成事業を創設。事業内容について問う。

①助成の対象は。

②助成対象となるリフォーム工事額は。

③業者を選ぶ基準は。

④助成額は。

答 町長

地域経済波及効果という点から、この事業は重要。

①町内にある個人住宅で、築5年を経過。

②リフォームに要した費用30万円以上。

③町の小規模工事等、契約希望者登録業者。

④リフォームに要した費用の10%。上限10万円。

訴えの提起について

町税等滞納者の有する不当利得（過払い金）返還請求を求めたが、CFJ合同会社がこれに応じないため、支払いを求める訴訟を起すものです。



平成22年度

一般会計補正予算

(万円未満は四捨五入)

収入支出の補正額は

補正額 2億3,305万円

総額 84億6,671万円

収入のおもな内訳は



町	税	△5,926万円
地方交付税		2億4,023万円
国庫支出金		1億4,951万円
県支出金		2,620万円
繰入金		△9,939万円
町	税	△4,720万円

おもな使いみち

*印は地域活性化、住民に光をそそぐ交付金事業

第1回臨時会

衛生費

子宮頸がん等予防接種委託料追加 787万円

土木費

公共下水道事業特別会計繰出金追加 440万円

総務費

ネットワークシステム等委託料更正	△623万円
*DV、自殺予防対策事業費等	389万円
*図書館の充実事業費等	714万円
選挙費職員手当等更正	△778万円

民生費

身体障害者福祉法関係更正	△435万円
国民健康保険特別会計繰出金追加	1億2,817万円
後期高齢者医療給付費負担金追加	468万円
養護老人ホーム入所措置費等更正	1,012万円
介護保険特別会計繰出金追加	303万円
子ども手当法関係更正	△1,689万円

衛生費

町立病院事業会計負担金追加	2,100万円
住民健康診断検査等委託料更正	△954万円
小児肺炎球菌ワクチン接種助成事業更正	△305万円
清掃委託料更正	△1,081万円

農林水産業費

岩間下河原地内用水路改修工事費更正	△600万円
鴨狩地内水路改修工事費	2,100万円
中山間地域総合整備事業負担金更正	△110万円

商工費

温泉事業特別会計繰出金追加	1,140万円
歌舞伎文化公園管理特別会計繰出金更正	△392万円

土木費

矢作上野線JR調査協定負担金更正	△3,250万円
公共下水道事業当別会計繰出金更正	△2,611万円

消防費

団員報酬、消防車購入費更正	△241万円
耐震性貯水槽工事費更正	△482万円

教育費

上野小学校屋根改修工事費	924万円
市川三郷町管内小学校空調設備工事費	1億6,097万円

組合議会の報告

中巨摩地区広域事務組合

第3回定例会 12月24日

22年度補正予算5件が、原案どおり可決されました。

主な内容は、職員の共済の掛け金率に伴うもので、次のとおりです。

一般会計 29万円追加
特別会計 369万円追加
ごみ処理事業 210万円し尿処理事業 80万円
また流量計を100万円追加し、

工事請負費180万円更正。

〔報告 内田利明〕

山梨県後期高齢者医療広域連合

第1回定例会 2月16日

定例会には、監査委員の選任についての同意案件ほか条例の改正案3件、補正予算案2件、平成23年度当初予算案2件が原案どおり同意、可決されました。

監査委員には、本町から望月隆夫議員が同意されました。

平成23年度一般会計予算では、事務費用に繰り出す負担金。

平成23年度特別会計予算では、被保険者数が2,100人程度の増加

による。保険給付費が前年度46億円増となっており、一人当たり3.6%の

伸びがおもな要因です。

〔報告 望月隆夫〕



常任委員会報告

(質疑の一部を要旨のみ掲載します)

総務教育常任委員会

問 町内の壁等の落書きについての情報、及び対応は。

岸本総務課長 公共施設については、すぐ塗り替え等を行ったが、個人住宅は、警察に被害届を出す必要があるため、話をしている。

問 差し押さえ鑑定等インターネット購買について、新聞に掲載されたが、情報提供を行ったのか。

志村税務課長 町から情報提供は行っていない。

問 個人町民税が少なくなり、法人税が上がっているが、その理由は。

税務課長 法人税の国の税収が上がっているためである。

問 固定資産税の評価替の時期は。

税務課長 3年に1度で、24年度である。

問 障害者自立支援事業費補助金が、昨年度の10倍以上だが、理由は。

長田財政課長 障害者授産施設、三施設に対する補助金である。

問 コミュニティバス、六郷線の利用者が少ないが、その対策は。

長沢企画課長 今後検討する。

問 女性消防隊結成の経緯は。

総務課長 火災予防の啓発が主な業務で、きめ細かな対応をする。

問 火災報知機設置の普及策は。

総務課長 啓発活動をし、高齢者世帯への設置を行った。広報等により啓蒙していく。

問 特別支援教育支援員が設置されているが、支援される者の数は。

網倉教育総務課長 30人学級で各教室に2名位とされており、本町では7名である。

問 放課後対策事業の内容、および経費は。

伊藤生涯学習課長 教育委員会では、楽しい教室を実施しているが、子育て支援事業と合同で体験学習も行っている。国・県・町それぞれ3分の1の負担である。

厚生常任委員会

問 ニードスポーツセンターの個人負担金の更正理由は。

一瀬いきいき健康課長 参加者が見込みより少なかった。

問 ニードスポーツセンターの民間委託について考えは。

町長 本年度1年かけて検討する。

問 日曜日が休館日だが、再度営業の検討は。

いきいき健康課長 統計結果により、休館とした。

問 予防費検査委託料の更正額が大きい理由は。

いきいき健康課長 受診率向上を目指し努力したが、目標に達しなかった。

問 ファミリーサポートの利用状況と、料金は。

青柳福祉支援課長 会員164名、平日、時間5000円(町200円補助) 土日時間600円(町300円補助)である。

問 子供手当支給につき、国では、本人の同意があれば保育料等に充てることができるのとこのだが、町の対応は。

福祉支援課長 国の施策同様おこなっている。

問 ヒブ・肺炎球菌ワクチンの同時接種が問題になっているが周知方法は。

いきいき健康課長 県から指示があり委託医療機関に緊急周知した。

問 直営診療所の医師確保の考えは。

砂田町民課長 確保は難しいが、現在交渉中である。

問 2歳児健診の内容及びフッ素塗布は。

いきいき健康課長 年4回で歯科健診が中心である。フッ素塗布は希望者のみで行っている。町では推奨していない。

常任委員会開会日

総務教育常任委員会	3月7日
厚生常任委員会	3月9日
土木環境常任委員会	3月14日

土木環境常任委員会

問 商店街活力再生支援事業、南線通りの街路灯75本が57本になった経緯は。

小林産業振興課長 廃業等による不要・撤去の為である。

問 矢作上野線の更正内容は。

加藤建設課長 既設跨線橋（三珠陸橋）の撤去経費、新設橋の設計委託料である。

問 みたまの湯納入金の更正理由は。

産業振興課長 利用者減によるものである。

問 大塚人參の成分分析表の活用状況は。

産業振興課長 一部で使用しているが、今後活用していく。

問 農地貸借意向情報調査業務委託につき、委託機関、情報の内容は。

産業振興課長 県農業振興公社へ委託予定、県内の農地情報を一元化する。

問 農道台帳の整備状況は。

産業振興課長 幅員4メートル

以下については未整備、地理情報システム等と合わせ管理できるように計画したい。

問 有害鳥獣対策は。

産業振興課長 県補助金を活用し、猟友会に依頼し、捕獲管理として謝礼を出している。

問 地域活性化事業委託料の事業内容は。

産業振興課長 みたまの湯周辺の活性化対策である。

問 西八代縦貫道整備促進期成同盟会の活動内容は。

建設課長 総会・要望活動等を行っている。

問 平塩5号線に併せ、住宅開発の考えは。

町長 地権者の協力を頂き開発できればと考えている。

問 住宅リホーム助成金について、住民へのPR及び、業者登録の働きかけは。

建設課長 広報・チラシ等により周知する。

審議結果

◎第1回臨時議会（1月17日）

	結果
・平成22年度一般会計補正予算（第7号）の専決処分	承認 全会一致
・平成22年度一般会計補正予算（第8号）	可決 全会一致
・平成22年度公共下水道事業特別会計補正予算（第5号）	可決 全会一致

◎第1回3月定例会（3月3日～17日）

・住民生活に光をそそぐ基金条例制定	可決	全会一致
・特別会計条例中改正	可決	全会一致
・国民健康保険条例中改正	可決	全会一致
・簡易水道事業の設置等に関する条例中改正	可決	全会一致
・訴えの提起	可決	全会一致
・平成22年度一般会計補正予算（第9号・第10号）	可決	全会一致
・平成22年度特別会計補正予算11件	可決	全会一致
・平成23年度一般会計予算	可決	賛成多数
・平成23年度国民健康保険特別会計予算	可決	賛成多数
・平成23年度介護保険特別会計予算	可決	賛成多数
・平成23年度介護サービス事業特別会計予算	可決	全会一致
・平成23年度訪問看護ステーション西八代特別会計予算	可決	全会一致
・平成23年度簡易水道特別会計予算	可決	全会一致

・平成23年度公共下水道事業特別会計予算	可決	全会一致
・平成23年度農業集落排水事業特別会計予算	可決	全会一致
・平成23年度戸別浄化槽整備推進事業特別会計予算	可決	全会一致
・平成23年度温泉事業特別会計予算	可決	全会一致
・平成23年度恩賜県有財産保護管理事業特別会計予算	可決	全会一致
・平成23年度市川・高田・大同財産区特別会計予算	可決	全会一致
・平成23年度歌舞伎文化公園管理特別会計予算	可決	全会一致
・平成23年度後期高齢者医療特別会計予算	可決	賛成多数
・平成23年度上水道事業会計予算	可決	全会一致
・平成23年度病院事業会計予算	可決	全会一致
・町道路線の認定	可決	全会一致
・職員の育児休業等に関する条例中改正	可決	全会一致
・要戸外六字恩賜県有財産保護財産区管理委員会員の選任	同意	全会一致
・市川大門恩賜県有財産保護財産区管理委員会員の選任	同意	全会一致
・水上外一山恩賜林保護財産区管理委員会員の選任	同意	全会一致
・大畠山外七字恩賜県有財産保護組合議員の選挙	決定	全会一致
・人権擁護委員候補者の推薦につき意見を求める	異議なし	全会一致

ここが聞きたい

一般質問 行政をただす



川崎 充朗



一瀬 正



宮崎 博巳



村松 武人



内藤 優



笠井 雄一



市川 朝嗣

災害時に即応できる防災の組織強化は

一瀬 正

減災体制を構築し備える

問 防災新館に伴い、対応と方針は。
町長 新たな機能を備え、期待できる施設と思う。

新しい防災体制が近日中に県から示される予定。

問 地区防災情報の共有が大切と思うが。

町長 防災情報システムが、実行的なものとなるよう、取り組みを広げ、減災対策の構築を図る。

問 安否情報の確認、情報収集訓練が重要と考えるが。

町長 一時避難地に世帯台帳を備え、安全確認をする。障害者、高齢者世帯について、民生委員の協力等、支援体制の整備を行う。

問 家庭でできる災害対策への指導援助の必要性に対し、考えは。

町長 既に行ってきたが、継続的に行う。

問 災害時の職員体制は。

町長 研究プロジェクトの成果を実行的なものとなるよう全庁体制へと推進する。

問 TPP参加による影響と、参加に対する考えは。

町長 参加しないことを、全国町村長大会で決議している。

問 水道検針時に独居老人の安否確認する考えは。

町長 早急に検討する。

問 水質障害対策で遅れている、下水道工事の進捗は。

町長 早急に事業執行図り、早期完成を目指す。

問 国保税値上げ後の収納状況と、滞納による資格証明発行対象者への対応は。

町長 関係課で連携をとり対応しているが、さらに情報を共有し、きめ細かに対応できるよう、しっかり庁舎内で協議する。

- ◆掲載は要旨のみとします。
- ◆議事録は議会事務局で閲覧できます。
- ◆ホームページで本会議の議事録を検索できます。
- ◆顔写真は年1回初回のみとします。

大同地区公民館

南保育所の今後は

村松 武人

― 候補地を模索中である ―

問 大同地区公民館建設計画は。

町長 土地開発基金を活用し、用地取得をする予定であり、現在候補地を模索中である。

問 町内保育所の耐震対策と建て替え計画は。

町長 三珠・大塚保育所は基準に適合。耐震調査の結果、市川保育所が耐震補強を必要とするため、建て替えを考える。富士見・南保育所は、耐震指数は満たしているが、南保育所の立地は悪く、防犯上の危険もある。

り整備計画を検討していく。

問 農業振興地域の土地利用を考え開田地区に町営団地、保育所の建設地としてはどうか。

町長 農業振興地域であっても公共施設用地として除外は可能であるが、宅地開発をする計画はない。

中山間地域総合整備事業を取り入れたばかりであり今後、実施計画を見直す中で検討していく。

問 中部横断自動車道八の尻トンネルの本工事が始まるまでに交通・治安の問題、安全対策を、地域住民にどの様に周知するか。

町長 昨年より何回か地元説明会と各学校への説明は行っている。町と警察・工事関係者で防犯上の事も含め話をしていく。

問 大同駐在所が廃止になると聞いたが。

町長 1年ぐらいいは、今のままでという話は聞いたが、残して頂くよう努力をしていく。

町立病院とタイアップした

機能向上事業の成果は！

笠井 雄一

― 着実に上がり、継続支援を続ける ―

問 超高齢化社会に突入し、地域支援・介護予防給付事業等の推進に重点を置き、町立病院に事業委託しているが、実績効果及び今後の実施計画の状況は。

町長 町立病院とタイアップし、運動器の機能向上教室を開催し、参加者は増え成果は上がった。委託料を差し引いても、介護保険サービスを受けた場合との比較効果は得られて

いる。家庭での運動習慣も必要であるので、ふれあいサロンへの利用支援をする。

問 第四期の介護保険料は軽減されたが成果が出ているのなら第五期の保険料の見直しは。

町長 合併時第三期の保険料を月額4,650円と設定したのは、旧町時代の1億3,500万円の借金返済に当てるため、すでに完済し基

金も積むことができた。第四期は月4000円の引き下げを行ったが、今年度の検証をしながら第五期の保険料を検討していく。

問 委託契約の方法、内容および他町との費用比較は。

福祉支援課長 契約状況が本町は幅広い機能維持教室を行っているため経費がかさんでいるが、再度見直し、より効果的な事業に努める。

ポスター掲示板の減少を！

市川 朝嗣

― 設置数は妥当と考える ―

問 選挙ポスター掲示板の設置数は140カ所と非常に多い。選挙公報も出しているので減らしてもよいと思うが、近隣町と比べ妥当な数か。

町長 公職選挙法の規定によるものである。近隣町の富士川町では120カ所、身延町159カ所となっている。地形や地域の実情により異なるが、設置数は妥当な数と考えている。経費節減の面からも今後検討の余地はあると考える。

問 有権者に不公平感がない程度に投票所の統廃合ができないのか。

町長 選挙人減少の投票区は、統廃合の必要性は感じている。選挙人の投票機会を奪うことのないよう地域の意見を聞いていく。

問 子どもが生まれてからの支援は、評価できるが、子どもが生まれる体制作り、独身の男女の縁をとりもつイベント等を神明の花火を機会に行ったらどうか。

町長 むずかしい問題等もあるが、行政として結婚支援の重要性は感じている。先進地を研究し検討していく。



神明の鐘（縁結びの鐘）

中部横断道

六郷インター周辺のまちづくりは

川崎 充朗

地域の意見に基づき、総合的に検討する

問 原地区から葛籠沢川横断は、高きない。

町長 過去地元の人と、何度も検討し現在に至っている。

問 県道と結ぶ、甲斐岩間駅東側地区の道路整備の計画は。

町長 生活環境の整備を含め、地域との一体感を損なわぬような、まちづくりを考えていく。



現地視察（六郷インター）

問 農業振興と、遊水機能低下地区の防災対策は。

町長 住民会議での提案はなかったが、大変重要であり、地域にあった土地利用や整備のあり方を十分検討していく。

問 インターアクセス道路近くの県営岩間団地の建て替え計画は。

町長 県では建て替え、廃止等を検討し、順次整備を行っている。

人口2万人を目指す増加策は！

宮崎 博 巳

― 若者定住促進につとめる ―

問 人口の増加が確実に見込まれる 定住促進策を出していく。

未婚男女への結婚支援、若者の定住促進策は。

問 空き屋バンクの現在の登録、PR状況は。

町長 婚姻数は減り続けているため、企画課長 ホームページ等でPRし、住宅政策と結婚支援を人口増加策として総合的に調査検討をし、若者の申込を受付ている。登録状況は10件以内である。

問 市川地区の道路整備、公園整備等への取り組み状況は。

町長 狭あい道路の整備は、長い時間をかけ、建て替えの際に拡張する事業を行っている。

公園新設整備計画は現在はないが、すべての遊園地や公園の遊具は点検修理を終了している。

問 高齢者のためのファミリーサポート制度の新設を。

町長 町のボランティアで高齢者支援、買い物難民や認知症高齢者との

話し相手支援が盛り込まれているグループが最近発足しましたため、町も社会福祉協議会とともに高齢になっても住みやすいまち作りに努力していく。

問 最近立ち上がったNPO法人等へバックアップの考えはないか。

町長 尊い思いを持って組織を立ち上げられた事に、長続きするような支援が行政として出来るか代表者の方々と話をする。

下水道条例の整備を！

内 藤 優

― 条例化について検討していく ―

問 公共下水道の利用促進を図るために、実情に見合った適切な期間設定は住民への意識化、動機付けに一定の効果をもたらすものと期待し、条例のさらなる整備を。

町長 未接続者には、高齢化や費用の問題など理由があり、先に接続し

た人との不公平感も事実である。

接続率を上げるために、未接続理由の解明や問題を整備し、先進的に期間を設けている市町村の例を検証し、期間設定の条例化について検討していく。

問 条例規定には過料に該当する項目が決められているが、新たに期限内に排水設備を設置しなかったものに、罰則規定の検討が必要では。

町長 県内では昭和町のみで、罰則は5万円以下の過料で、催告通知や氏名公表等している。

条例化してある全国の自治体で適用されていないのが実状である。このことを踏まえ、意識動機付けなど考慮し、接続率向上を目指し、繰出金が少しでも減るように慎重に検討していく。



公共下水道工事

討論

■平成23年度 一般会計予算

(反対)

一瀬 正議員

町民税の個人法人税の計上額は昨年度よりも多く法人税の増額が期待できる。この事だが、町民税に占める法人税の割合が低い事と一般町民の暮らしが益々困難になっている中だけに収入は少なく、支出は多くという予算計上の観点から理解出来ない。また宮原一本松広場線、岩間久那土線新設事業はこれまでに予算が計上され更正され、用途変更等があったり道路建設に反対する方もいる。中部横断道建設に伴う、住民が必要とする以上の大型町道建設に疑問を感じる。

(賛成)

笠井 雄一議員

町道宮原一本松広場線新設改良事業は、中部横断自動車道六郷ICへのアクセス道路として、また町道岩間久那土線へ接続し、地域の発展に繋がる重要な路線である。本町の南の玄関口として、県道市川三郷身延線へも直結する大切な道路であり、地域貢献できる事業である。

(賛成)

内藤 優議員

岩間久那土線の道路の建設については、旧町時代からの継続事業であり、地区の八割弱の方から賛成が得られている。多くの区民が実現を望む主要事業であり、一日も早く地権者の合意を得て、完成する事を希望する。

(賛成16・反対1)

■平成23年度

国民健康保険特別会計予算

(反対)

一瀬 正議員

国民健康保険は「社会保障及び国民保険の向上」を目的とし、国民に医療を保障する制度であり、その制度が生活苦に追い打ちをかけ、人権や命を脅かす事などあつてはならない。国保税を滞納せざるを得ない人に救済の手を差し伸べるのではなく差押えを強要している。払いたくても払えない町民のために、町民の所へ足を運んで相談にのる事が必要と考える。国の悪政のもと最大限の行政の努力を求め反対する。

(賛成)

内藤 優議員

本町では今年度、税率改正により加入者への負担を求めた。多くの市町村が年々税率改正を実施してきたのに対し、財政調査基金を計画的に活用し負担増にならない様に努力している。なお不足する財源については一般会計から多額な繰入金投入し取組んでいる。負担能力が低い人達へのセーフティネット機能を果たしていると考ええる。国民健康制度を堅持し、不安定な財政基盤ではあるが、守り続けている町の姿勢を評価する。

(賛成16・反対1)

■平成23年度

介護保険特別会計予算

(反対)

一瀬 正議員

入所希望者の増加に特別養護老人ホームの整備が追いつかない。家族介護や看護のため、仕事を辞めなければならぬ。保険料は年金から天

引きされ納めても、いざ介護が必要となった時、介護サービスが受けられない現状の中で介護保険特別会計予算に反対する。

(賛成)

内田 利明議員

介護サービスを利用する人が増加傾向にあり、この介護保険制度が高齢期の世代を支える重要な制度として活かされている。さらにこれらの事業の強化を反映させ、また介護保険料を約9%値下げした。第四次介護保険事業計画を策定し、この計画を達成させるために努力し充実した保険制度としていく事が大切である。

(賛成16・反対1)

■平成23年度

後期高齢者医療特別会計予算

(反対)

一瀬 正議員

国は財政構造を抜本的に見直し社会保障費の拡大をすべきである。年齢による医療のサービスの差別する制度は廃止し高齢者が安心して医療を受けられるようにすべきです。後期高齢者医療保険制度に反対する立場から反対する。

(賛成)

秋山 詔樹議員

後期高齢者医療広域連合と市町村が協力提携する事により制度の運営は軌道に乗り始めた。政府は引き続き保険料特別軽減延長など様々な見直しを行ってきた。少子高齢化の進む時代背景のなか、高齢者の医療と支え手となる現役世代の暮らしを守るこの制度を堅持し将来に引き継いでいく事が大切である。

(賛成16・反対1)

原稿を募集します

みなさまのご意見をお寄せください。

みんなのページは紙面の都合により、今号はお休みさせていただきます。

編集後記

第1回定例会が開催中の3月11日に発生しました、東北・関東大地震は地震・津波・原発と、わが国がかつて経験したことのない深刻な出来事で、広域な災害は国内最大で想像を絶するものです。多くの方々の尊い命がうばわれたことに被害の大きさを感じ、心が重く痛みます。被災されました皆様には心からお見舞い申し上げます。被災地の一日もはやい復旧と復興に、私達一人一人が、人として助け合いの心をもち、協力し合う事が大切ではないでしょうか。

(記 有泉 希)

議会広報編集特別委員会

委員長 宮崎 博巳
副委員長 笠井 雄一
委員 土屋 恵三郎
市川 朝嗣
川崎 充朗
有泉 希